

## ダクト用換気扇 (浴室・トイレ・洗面所用)

一部屋用		二部屋用	
形名	BL規格	形名	BL規格
VD-10ZC7-BL	浴室用Ⅰ型	VD-15ZC7-BL	浴室用Ⅱ型
VD-13ZC7-BL		VD-15ZPC7-BL	
VD-13ZSC7-BL		VD-15ZPCL7-BL	
VD-15ZSC7-BL		VD-15ZPPC7-BL	
VD-13ZFC7-BL	2室用Ⅰ型	VD-15ZFC7-BL	2室用Ⅱ型
VD-15ZFC7-BL		VD-15ZFFC7-BL	
VD-15ZFC7-BL		VD-15ZFFC7-BL	

## 取付工事説明書

販売店・工事店さま用

取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

**別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。**

- 取付工事、壁穴工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- 配線工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
- 当社以外の電子式スイッチ (半導体制御)による遠調スイッチ・タイマー等) やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめ確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。

### 優良住宅部品 (BL) について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない取付工事に取組がなされ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証拠の貼付 (又は刻印等) がされている住宅部品については、財団法人ベターリビングのBL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度については、財団法人ベターリビングのホームページ (<http://www.blhp.org/>) をご覧ください。

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p>誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 内置き風呂を接続した浴室には取付けない 排気ガスが浴室に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。</li> <li>● ガス漏れに気が付いたときは、換気扇のスイッチの入切をしない 爆発や引火の原因。</li> <li>● 製品を水につけたり、水をかけたりしない ショート・感電の原因。</li> <li>● 改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因。</li> <li>● 交流 100 V を使用する 火災・感電の原因。</li> <li>● メタルス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。</li> <li>● 湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける 故障や漏電のときに感電の原因。</li> </ul>	<p>誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 浴室内に壁スイッチを設けない 感電の原因。</li> <li>● 直接炎のたつたおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。</li> <li>● 本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に落下によりけがの原因。</li> <li>● 部品の取付けは確実に落下によりけがの原因。</li> <li>● 取付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。</li> <li>● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。</li> </ul>

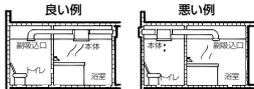
## 2. 取付け前のお願い

### 取付け

- プラスチックボディアイブダクト用換気扇及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁 (特に消防署) にご相談ください。
- 高温 (40℃以上) になるには取付けないでください。
- 温泉には取付けないでください。腐食 (落下)、漏電 (感電)、早期故障の原因となります。
- 業務用 24 時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに取付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には取付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。

### 取付場所

- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に取付けてください。
- 浴室と他の部屋で使用する場合は本体を必ず浴室に取付けてください。本体から水滴が落ちることがあります。(VD-13ZFLC7-BL、15ZFC7-BL、15ZFFC7-BL)



### 天井・ダクト工事

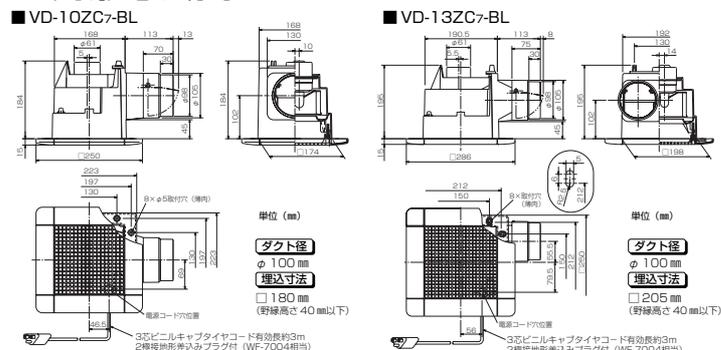
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて 1/100 以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのペントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところは耐外風フードなどのシステム部材を取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

- 極端な曲げ
- 多数の曲げ
- 吐出口のすぐそばでの曲げ
- しぼり

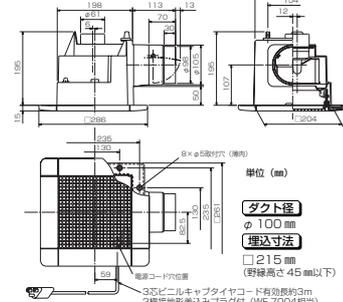
### 付属部品

VD-10ZC7-BL	VD-15ZSC7-BL	木ネジ (ステンレス製) (本体固定用)	木ネジ (副吸込口グリル固定用)	副吸込口グリル
VD-13ZC7-BL	VD-15ZPC7-BL	6本	-	-
VD-13ZSC7-BL	VD-15ZPCL7-BL			
VD-15ZSC7-BL	VD-15ZPPC7-BL	7本	4本	1個
VD-13ZFC7-BL	VD-15ZFFC7-BL			
VD-15ZFC7-BL				

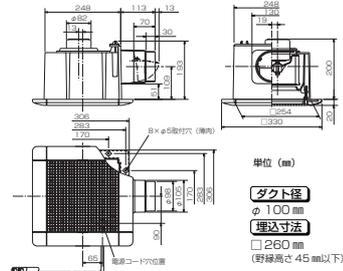
## 3. 外形寸法図



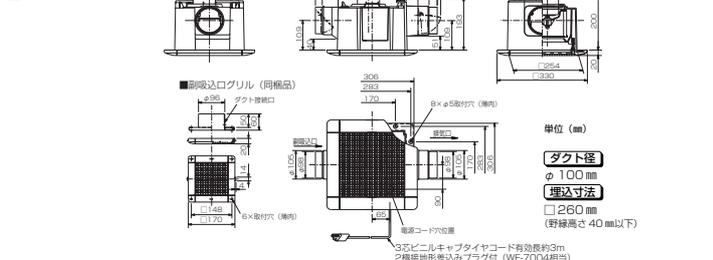
### ■ VD-13ZSC7-BL



### ■ VD-15ZC7-BL ■ VD-15ZSC7-BL ■ VD-15ZPC7-BL



### ■ VD-13ZFC7-BL ■ VD-15ZFC7-BL ■ VD-15ZFFC7-BL

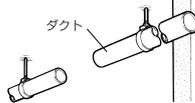


## 4. 取付方法

\* 天吊金具を使用される場合は「天吊金具を使用する場合」をご覧ください。



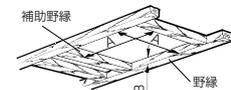
### 1. ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口および副吸込口位置 (二部屋用のみ) までダクト配管する。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。

### 2. 野縁工事



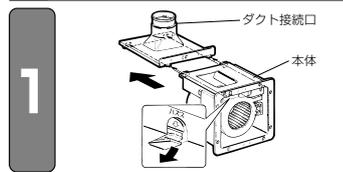
形名	A寸法	B寸法
VD-10ZC7-BL	180	40
VD-13ZC7-BL	205	40
VD-13ZSC7-BL	215	45
VD-15Zタイプ	260	45
VD-13ZFC7-BL	260	40
VD-15Zタイプ	260	40

寸法がA寸法、高さがB寸法以下になるよう天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。

### ※メモ

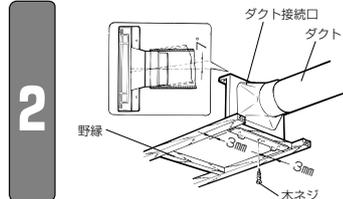
- 野縁高さをB寸法以上で取付けるとシャッター開閉不良、異常音の原因となります。

### 3. ダクト接続 (一部屋用)



ダクト接続口の取りはし

- 本体内側のツメを矢印の方向に押えながらダクト接続口を左図のように本体から取りはします。



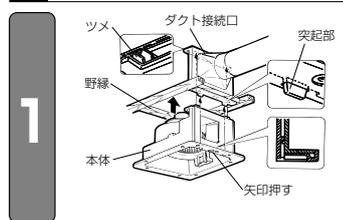
ダクト接続口の固定

- (1) ダクト接続口をダクトに差し込む。
  - (2) ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ 1本で野縁の中央に固定する。(両サイドに3mmほどのすき間があります)
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向 7°)

### お願い

- ダクト接続を市販の木ネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。

### 4. 本体の取付け (一部屋用)



本体の差し込み

- (1) 本体を野縁にそって差し込む。
  - (2) ダクト接続口とのめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の突起部を本体下部の角穴にはめ込む。
- 本体フランジ部にある矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。

### お願い

- 羽根を持って本体の取付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

本体の固定

- (1) 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ (5本) で本体をすき間のないようしっかりと固定する。
  - (2) 風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。
- 取付穴はすき間防止のため、薄肉がついていますのでネジ締付けの際、ネジ先端で薄肉部を突き破ってください。

## 4. 取付方法 つつき

### 3 ダクト接続 (二部屋用)

**1**

ダクト接続口と副吸込側ダクト接続口の取りはずし

- (1) ダクト接続口は本体側内側のツメを矢印の方向に押しながら図のように取りはずします。
- (2) 副吸込側ダクト接続口は、本体フランジ部の突起部を矢印の方向に押しながら図のように取りはずします。

**2**

建物および部屋の配置により、取付位置・排気方向・副吸込口方向・壁排気穴の位置決め

- (1) 副吸込口は3方向選択ができるため、使用する副吸込口方向を決める。
- (2) カバープレートが取付てある場合は、上に引きぬいて副吸込側ダクト接続口と交換して取付ける。

**3**

ダクト接続口と副吸込側ダクト接続口の仮固定

- (1) ダクト接続口と副吸込側ダクト接続口をダクトに差し込む。
- (2) ダクト接続口、副吸込側ダクト接続口のフランジ部を野線に密着させて付属の木ネジ各1本で仮固定する。  
(ダクト接続口側は両サイドに3mmほどのすき間をあきます。副吸込側ダクト接続口は、仮固定用穴を野線の中央に合わせます。)

- 仮固定するのは固定用穴 (長穴) 部分で移動できるためです。本体が取付けやすくなります。
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。(全方向へ)

**お願い**

- ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。

### 4 本体の取付け (二部屋用)

**1**

本体の差し込み

- (1) 副吸込側を確認しながら、本体を野線に差し込む。
- (2) ダクト接続口とのめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の突起部を本体下部の角穴にはめ込む。  
● 本体フランジ部にある矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。
- (3) 副吸込側ダクト接続口の下部突起部を本体下部の角穴にはめ込む。

**お願い**

- 羽根を持って本体の取付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

**2**

本体の固定

- (1) 付属の木ネジ (5本) で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間があると風漏れの原因になります)
- 取付穴はすき間防止のため、薄肉がついていますのでネジ締付けの際、ネジ先端で薄肉部を突き破ってください。
- (2) ダクト接続口、副吸込側ダクト接続口を仮固定している木ネジ各1本を締め付ける。
- (3) 風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。

### 5 電気工事

電源プラグと同形のコンセントを設けて差し込む。

VD-10ZC7-BL, 13ZC7-BL, 13ZFC7-BL, 13ZSC7-BL, 15ZFC7-BL, 15ZSC7-BL, 15ZFC7-BL, 15ZPCL7-BLの場合

● 電源コード先端には、2極接地形差込プラグ (7A, 125V, WF-7004相当品) がついていますので、同形のコンセントを取付ける。

**結線図**  
(太線部分を結線する)

### VD-15ZC7-BL, 15ZPC7-BL, 15ZPPC7-BLの場合

● 電源コード先端には、3極接地形差込プラグ (7A, 125V, WF-5415相当品) がついていますので、同形のコンセントを取付ける。

**結線図**  
(太線部分を結線する)

※定格4A・300Vのコントロールスイッチを使用ください

### 6 天井材を張る

- (1) 天井材を張る。
- (2) 本体のフランジ部分と天井材とは必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。

**お願い**

- 天井材の厚さは25mm以下で施工してください。(グリルが天井材に密着しない場合があります。)

## 7 グリルの取付け

**本体側の場合**

- (1) グリルの2つのパネを両手を持ち、長穴に差し込む。
- (2) 手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

**副吸込側の場合** … (二部屋用)

- (1) 内寸120mm角となるように野線を組む。
- (2) 副吸込側グリルとグリル取付枠に分ける。  
● フレキシブルダクトに差し込む場合は必ずテーピングしてください。(風漏れ防止)
- (3) 付属の木ネジ (4本) でグリル取付枠を天井材に固定する。  
● タイルの目地に合わせて取付ける場合、中央のネジ2本で固定します。
- (4) 副吸込側グリルの手掛け部とグリル取付枠の切欠部を合わせて上に押し上げ取付ける。

### 本体側と副吸込側の風量調節のしかた … (二部屋用)

**本体側の場合**

- 本体の風量調節板を移動させることにより本体と副吸込側の風量割合を変更することができます。

穴位置	本体風量	副吸込風量
①	約1.5:1 (工場出荷時)	
②	約2:1	
③	約2.5:1	
④	約3:1	

### 天井金具を使用する場合

野線に強度がない場合は天井金具を使用して取付ける方法も兼用してください。

下図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト (M8) を埋め込む。

■VD-10ZC7-BL  
■VD-13ZC7-BL  
■VD-13ZSC7-BL

■VD-15タイプ

■VD-13ZFC7-BL  
■VD-15ZFC7-BL  
■VD-15ZPPC7-BL

形名	A	B
VD-10ZC7-BL	206	233
VD-13ZC7-BL	230	257
VD-13ZSC7-BL	238	265

### システム部材の天井金具のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定する。

**お願い**

- P-04TK, P-06TKの場合、必ずダクト接続口を先に取付けてから天井金具を取付けてください。逆の場合はダクト接続口が取付けられません。

**3**

吊りボルト  
ゴムクッション  
ナット (市販品)  
ワッシャー (市販品)

本体が水平になるように天井金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。

### 天井材の下に本体フランジを取付ける場合

**お願い**

本体の取付けは天井材と本体フランジ部との間にすき間がないように取付けてください。(天井材と本体フランジ部が密着しないと天井面とグリルの間にすき間が生じる場合があります)

■パッキン材を使用する場合

- 天井材と本体フランジ部の間にパッキン材を使用する場合は薄いもの・軟らかいものを使用し、取付状態ですき間がないようにしてください。

■補強板を使用する場合

- コントロールバスに設置する場合などで、天井面と本体フランジ部との間に補強板を入れる場合には、その部分の厚さが1mm以下のものをご使用ください。

すき間がないように取付けてください

## 5. 試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか?
2. 振動・異常音はありませんか?